

(売か)

等の出を見えて上吉の地勢今と同く
さる事を知る一極大山といへども壬戌の
事といふ見へども平記評判十又し是奥州
勢着坂市顯家以上洛の系下に伊達信実
令沃大澤志尾津中利多海大山云々上者其
とあり同書大榭振州志河東京合戦の系
下よも龍形山志先より渡り進て軍に利が
といふ傳曰先陣ハ結城上野入道伊達一弘
伝吏豊平郡令又子余騎只一子よめて向ふ
二陣ハ秋田城め多海三舞令沃新ハ大山
菊神郡令又子余騎とあり。

一三 楯山

大山楯山の上より古人曰古ハあてりも楯
ありて戦氏のつゝ是大濠月休といふ人楯代
より一とそ小寺伝正は説を定乗なりとん
予續古平記を見らに二十九とそ奥州關の
系下に奥州の管領斯波氏系方史政直同
云上澄理方史為頼ハ代の將軍前政公ハ加
勢の爲軍勢を催れとも同は当玉の武士二
十三人とありその内大梵寺河田多楯とあり